

# 報 告 書

(2 班)

開催日時	平成25年1月28日(月) 7時00分 ~ 8時30分		
開催場所	気仙町 長部コミセン		
出席議員	挨拶 菅野稔 班長		
	司会進行	大坪涼子	
	報告者	佐藤信一	千田勝治
	記録者	鵜浦昌之	大坂 俊 都合欠席
参加人数	35名	市職員4名	東海新報社1名
主な要望 ・提言等	<p>1 配布された資料の地図を見ても長部地区のことが分からない。長部地区に関する計画を教えてほしい。</p> <p>2 震災により海岸線が地盤沈下した。盛土には2、3年かかると思う。その間にも台風が来る。そこで、高田松原の野外活動センターマリナーに漁船のいい停泊場所がある。古川沼を含め良好の避難港にもなる。ぜひ水門を開けて開放してほしい。暫定的な措置としてお願いしたい。</p> <p>3 土地区画整理事業が進められている地域で「都市計画決定済」という場所があるが、これは道路計画も決まったということか。計画によると、国道45号がわが家の上を通っているようだが、どうなっているのか。</p> <p>4 高台移転先の地主から「市役所がハンコをもらいにこない」との話がよく聞かれる。内諾だけでなく、早く正式にお願いすべき。時間が経過すると地主の考えも変わる。</p> <p>5 高台移転先に建設戸数が決まってからでも、新たに協議会に加わって家を建設できるのか。</p> <p>6 今泉と長部との違いは何か。なぜ今泉は土地区画整理事業で、長部が防災集団移転事業なのか。</p> <p>7 国の復興予算が流用されたりしている。そのようなことがないようにしてほしい。早く東北が復興するようお願いしたい。</p> <p>8 被災者は日本赤十字社などから多くの義援金をいただいた。陸前高田市にも多くの見舞金がきていると思うが、どのように配分されているのか。</p> <p>9 市議会と市復興局は定期的に対話をしているのか。</p> <p>10 震災によって大きな犠牲者がでただけに反省が必要だと思う。反省すべきことを反省してから復興を進めるべきではないか。</p>		

	<p>市役所の再建場所を考えるにあたって、多くの市職員が亡くなったにもかかわらず簡単に低い場所に決めていいのか。</p> <p>11 議会報告会では、その地域に関する情報を伝えてほしい。</p> <p>12 J R 大船渡線に関し、B R T のバス停が長部の双六地区に設けられると聞いた。今後の運行開始日程を教えてください。</p> <p>13 議員から聞く話は世の中で話されていることと同じ。選挙の時に「みなさんのために頑張る。まちの状況を報告します」と言ったはず。議員が知り得た情報を市民にも教えてください。</p> <p>14 議会報告会后、全議員で協議しているのか。前回も同じようなことを話したと思うが、今回も同じような話が繰り返されている。報告会で出された意見や要望を次の報告会につなげてほしい。</p> <p>15 被災者の国保税や医療費に関し、市は「免除や減免について国の方向性をみていく」としているが、今後の状況はどうか。行政は「人が足りない」と言っている。議員が先になって署名活動などして国に働きかけてはどうか。</p> <p>16 高田松原の防潮堤に関し、高さは 12.5 メートルと決まっているはずだが、12 月議会でそのことに関する請願が提出された。なぜ「継続審査」としたのか。</p> <p>17 気仙地区議会議員協議会は、陸前高田市に関連した内容として「県立高田高校の早期再建」、「J R 大船渡線の早期復興」、「地域医療の充実」、「陸前高田市と一関市間の道路整備」を関係機関に要望したようだが、そのうち一関市までの道路整備について説明してほしい。</p> <p>18 学校統合に関し、気仙中学校は第一中学校に統合した方がいいのではないか。</p>
<p>所 感</p>	<p><b>菅野 稔</b>  地域の問題点(産業振興・防災集団移転等)をとらえ関心を持たせる報告会にすべきだったと感じた。</p> <p><b>佐藤信一</b>  防災集団移転についての質問が多かったが合わせて中学校の統合や、漁港整備等についての提案や意見が出された。当面の課題にしっかりと対応していく必要があると感じた。</p> <p><b>大坪涼子</b>  仮設住宅団地の方の参加も見られ、防災集団移転など住まいや、新しいまちづくりに強い関心をもっていた。三陸縦貫道や国道 45 号線の位置など、道路網の詳しい説明が求められた。報告会の資料だけでなく、現在の復興の取り組み状況についても、把握しておくべきと感じた。女性の参加も見られ、県立高田病院などにも関心があると感じた。</p>

**鵜浦昌也**

議会報告会のあり方について、開催地区に関する詳しい情報を提供していくことが求められていることを強く感じた。配布資料の内容を精査することが必要。

**千田勝治**

高台移転先が決定されているにもかかわらず、その後の当局が地主への土地買い上げ交渉がされておらず、住民は不安を抱いているようであった。

陸前高田市議会議長 伊藤明彦 殿

平成25年1月30日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成24年度第2回議会報告会2班

班長 菅野稔 ⑩